

教科名 科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
国語	2	1年次 プログレッシブ コース	必履修	高等学校 言語文化 第一学習社	○読解のための必修古典 文法 改訂版・文栄堂 ○読解のための必修古典 文法問題集 改訂版・文 栄堂 ○わかる・読める・解け るKey&Point 古文単語
言語文化					

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。 ・論理的思考力や想像力を養うとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の 観点・規準	<p>「知識・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句に触れ、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>「思考・判断・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類をふまえ、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章に表れている物の見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に積極的に親しみ、文章や詩歌の面白さを互いに伝え合おうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を、これまでの学習を活かして粘り強く読み取ろうとしている。
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <p>定期考査における基本問題や小テストで評価する。</p> <p>「思考・判断・表現」</p> <p>定期考査における発展問題や授業内発表の内容や成果物で評価する。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>提出物の内容や授業態度で評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>日本文学編「古文の学習」、「児のそら寝」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話の面白さや人間描写の巧みさを知る。 <p>漢文学編「訓読に親しむ(一)～(三)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・返り点や再読文字の種類や使い方等の漢文を訓読するための基礎知識を身につける。 <p>日本文学編「なよ竹のかぐや姫(竹取物語)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典特有の世界観に慣れるとともに、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、解釈する。 <p>漢文学編「故事成語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来していることを知る。
2 学期	<p>日本文学編「伊勢物語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 <p>漢文学編「史伝」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史伝という文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える。 <p>日本文学編「贅のうへ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品に込められた作者の心情を捉える。 <p>漢文学編「漢詩」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読
3 学期	<p>日本文学編「徒然草」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思索的な随筆を読み、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 <p>漢文学編「論語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--